

厚生労働科学研究費補助金（移植医療基盤整備研究事業）  
分担研究報告書

看護師における臓器提供教育に関する研究

研究分担者 黒田 泰弘 香川大学医学部 客員教授  
研究協力者 杉江英理子 神戸市立医療センター中央市民病院

研究要旨：本研究の目的は、看護教育における臓器提供・移植医療に関する教育の実態と課題を卒前教育と卒後教育に分けて明らかにし、それぞれの改善に向けた具体的提言を行い、統一かつ継続的な教育ツールの開発を行うことである。

### A. 研究背景と目的

日本における臓器提供は法制度の整備と啓発活動の進展により一定の増加を示しているが、欧米諸国と比較して提供件数は依然として低水準である。その一因として、臨床現場における看護師の臓器提供に対する理解の不十分さ、意思決定支援スキルの未習得が指摘されている。

特に、看護師が患者・家族と最も近い距離で関わる存在であるにもかかわらず、卒前教育段階では臓器提供の内容が体系的に扱われてこなかった。また、卒後の現任教育でも、施設間で教育内容・頻度にばらつきが大きく、終末期医療の選択肢として臓器提供を適切に説明・支援できる人材が限られている。本研究では、看護師を対象とした卒前・卒後における臓器提供教育の現状を明らかにし、教育の質的向上と全国的な普及を目的として、教育支援ツールを開発・評価する。

### 研究目的

- 看護師養成課程（卒前）における臓器提供教育の実施状況と課題を明らかにする
- 卒後（臨床）段階における教育機会、到達度、教育ニーズを明確にする
- 両段階に対応可能な教育支援ツールを開発し、効果を検証する
- 得られた成果をもとに、看護師教育における臓器提供教育の標準モデルを提案する

☐

### ☐B 研究方法

#### (1) 研究デザイン

混合研究法（quantitative + qualitative）を用いた、調査研究および教育介入評価研究（単群前後比較）

#### (2) 研究対象

卒前教育：全国の看護系大学・専門学校の教員、カリキュラム担当者、在籍学生（3～4年生）

卒後教育：臨床看護師（集中治療室・救急部門等を含む）、看護管理者、教育担当者

目標対象数：看護教員約 50 名、看護学生約 50 名、臨床看護師約 50 名

#### (3) 調査・介入内容

☐

##### 実態調査

【卒前教育】：カリキュラム内容・時間数・教材の有無を教員向け質問紙＋自由記述にて調査

☐

【卒後教育】：研修受講歴、臓器提供の知識・対応経験、学習ニーズについてのアンケート実施

☐

【追加】：一部対象者に半構造化インタビューを実施し、教育実践上の困難や改善提案を質的分析

☐

##### 教育介入（ツール開発と実施）

- 教育コンテンツ（動画教材＋スライド＋確認テスト）
- 現場想定ロールプレイ（家族説明場面／意思確認場面）
- 臓器提供家族・提供担当者の体験談（講話または動画）
- 学習ガイド／振り返りワーク／自己評価チェックリスト

### C 評価方法

- 知識評価：臓器提供に関する選択式 10 問テスト（介入前後で比較）
- 態度・信念：Likert 尺度による臓器提供に対する態度・信念質問票（介入前後）
- 行動意図：仮想場面に対する意思表示・支援行動の選択肢評価
- 自由記述・質的分析：教育介入後の感想・学び・実践可能性に関する自由記述をコード化・分析

### D データ解析

量的データ：

対応のある t 検定、分散分析（ANOVA）、クロス集計

質的データ：SCAT またはテーマ分析法を用いた質的コーディング・解釈

#### E 研究期間

令和7年（2025年）4月～令和9年（2027年）3月（2年間）

1年目：調査票作成・倫理審査取得・実態調査実施・初期分析

2年目：教育ツール試作・教育介入の実施・評価分析・報告書作成・学会発表

#### F 倫理的配慮

- 各所属機関の倫理審査委員会の承認を得て研究を開始する
- 研究参加は自由意志とし、文書による同意取得を徹底
- 回答・インタビュー内容は匿名化し、個人情報保護に配慮
- 学会・論文公表の際にも個人が特定されないよう十分留意する



#### 6. 期待される成果

- 看護教育における臓器提供に関する教育課題と全国的傾向が明らかとなる
- 実用性・再現性の高い教育ツールが開発さ

- れ、教育現場・臨床現場で即時に活用可能
- 教育モデルの標準化が進むことで、終末期医療における臓器提供支援の質向上が期待される
- 長期的には、看護師による家族支援やチーム医療の質的向上を通じて、臓器提供の選択がより尊重される医療文化の構築に寄与する

#### F. 健康危険情報

特になし

（分担研究報告書には記入せずに、総括研究報告書にまとめて記入）

#### G. 研究発表

1. 論文発表  
未定
2. 学会発表  
未定

#### H. 知的財産権の出願・登録状況

- （予定を含む。）
1. 特許取得  
未定

2. 実用新案登録  
未定

3. その他  
未定